

1 きっと…だ。

I am sure that ...

基本文 I **am sure that** these ideas help many people.

私はこれらの考えが、多くの人々を助ける **と確信しています**。

ポイント

① **I am sure that ...** の形で、「私はきっと…だと思えます」と言うことができる。

この that は省略できる。

② sure の部分には、happy / glad 「うれしい」、sad 「悲しい」、sorry 「残念だ」などの形容詞も入れることができる。



基本文をマスターしよう

1 基本文 の英文を、下の日本語を確認しながら書き写そう。

I () () () these ideas () many people.
(主語) (be 動詞) 確信して …ということ (主語) (動詞) 多くの人々

2 「私はきっと…だろうと思えます」という、確信していることを伝える文を書こう。



私は、あなたはきっとその試合に勝つだろうと思えます。 match (試合)

I am () () you will win the match.



私は、あなたはきっと来るだろうと思えます。

I () () () you will come.



私は、あなたはきっとその映画が気に入るだろうと思えます。

I () () () you'll () the movie.

3 日本文に合うように、() 内の形容詞を使って英文を完成させよう。

(1) 私は、あなたがその試合に勝ってうれしいです。(glad)

I'm _____ you won the game.

(2) 私は、シュンはきっと6時まで家に帰ってくるだろうと思えます。(sure)

_____ Shun will come home by six.

- (3) 私は、あなたがその本を気に入ると確信しています。(sure)

I'm _____ will like the book.

- (4) 私は、アンのチームが試合に勝って、うれしいです。(glad)

_____ Ann's team won the game.

- (5) 私は、レンがアメリカに行ったことに、驚きました。(surprised)

I _____ Ren went to the U.S.

4 日本文に合うように、()内の語を並べかえよう。

- (1) ナオミが良いダンサーになったことを誇りに思います。

(a good dancer / I'm / became / Naomi / that / proud / .)

- (2) マキはその電車が遅れないか心配です。

(the train / is / late / Maki / will be / afraid / .)

5 英文を()内の指示にしたがって書きかえよう。

- (1) You have to go home now. (sorryを使って、「私は…ということが残念だ」という文に)
- _____

- (2) You can't join us. (sadを使って、「私は…ということが悲しい」という文に)
- _____

6 きみなら何て言う? 英語で表現してみよう。

- (1) 右のユイの日記を見て、ユイの気持ちを表現する次の文を完成させよう。

I was _____ that Emma _____
my tennis team.

- (2) I'm sure that you can 「きっとあなたは…できると思うよ」を使って、友達を励ます文を書いてみよう。
- _____

5月8日

エマがテニス部 (my tennis team)
に入ってくれて (join), うれしかった (happy)。

参考

win the game (試合に勝つ), score a goal (シュートを決める), get a good score (よい点数を取る),
dance well (じょうずにおどる), get a concert ticket (コンサートチケットを手に入れる)

2 なんて…だろう！

How ...! / What a ...! (感嘆文)

基本文

How nice!

a

なんて すてきなんでしょう！

基本文

What a cute bag!

b

なんて かわいい バッグ でしょう！

ポイント

① Howを〈形容詞〉の前に置いて「なんて…だろう！」と感動を表すことができる。

このような文を感嘆文といい、文の最後には！(感嘆符)をつける。

② Whatを〈a [an] +形容詞+名詞〉の前に置くと、「なんて…な～だろう！」と感動を表せる。

基本文をマスターしよう

1

基本文 a の英文を、下の日本語を確認しながら書き写そう。

() ()!

なんて

すてきな

2

「なんて…だろう！」という意味の、絵の場面に合うせりふを、 の語を使って書こう。



なんてきれいなの! beautiful

() beautiful!



なんてかわいいの! cute

() ()!



なんてかっこいいんだ! cool

() ()!

3

日本語に合うように、()内の形容詞を使って英文を完成させよう。

(1) なんて勇かんなのだろう! (brave)

_____!

(2) なんておいしいパフェだろう! (delicious)

_____ parfait!

3 どのように…するか

how to + 動詞の原形

基本文 I know **how to use** these products.

私はこれらの製品の**使い方**を知っています。

ポイント

① <how to + 動詞の原形>の形で、「どのように…するか」「…のしかた」と言うことができる。

② how以外の疑問詞も、<疑問詞 + to + 動詞の原形>の形で使うことができる。

- 例** <what to + 動詞の原形>「何を…すべきか」 <when to + 動詞の原形>「いつ…すべきか」
<where to + 動詞の原形>「どこで…すべきか」 <which to + 動詞の原形>「どちらを…すべきか」
<which + 名詞 + to + 動詞の原形>「どちらの～を…すべきか」

基本文をマスターしよう

1 基本文 の英文を、下の日本語を確認しながら書き写そう。

() () () () () these products.
(主語) (動詞) どのように使うか これらの製品

2 「私はどのように…するか知っている」という、何のやり方を知っているか伝える文を書こう。



私はどのように魚を料理するか知っています。

I know () () cook fish.



私はどのようにコンピュータを使うか知っています。

I know () () () a computer.



私はどのように馬に乗るか知っています。

ride (…に乗る)

I () () () a horse.

3 日本語に合うように、()内の動詞を使って英文を完成させよう。

(1) 私は何を読めばよいか [何を読むべきか] わかりません。(read)

I don't know _____ .

(2) 私は、どこでそのチケットを買えばよいか知っています。(buy)

I know _____ the ticket.

4 (人) に (どのように…するか) を見せる

show + 人 + how to ...

基本文 I can **show** you **how to use** these products.

私はこれらの製品の**使い方**をあなたに**見せる**ことができます。

ポイント

- ① <show + 人 + how to + 動詞の原形> の形で、「人に…のしかたを見せる」と言うことができる。
- ② このように、<疑問詞 + to + 動詞の原形> は、<show + 人 + もの> の <もの> の部分に入れることができる。
- ③ showの部分には、tell「話す、教える」、ask「たずねる」、teach「教える」などの動詞も入れることができる。

基本文をマスターしよう

1 **基本文** の英文を、下の日本語を確認しながら書き写そう。

I can (_____) you (_____) (_____) (_____) these products.
(主語)…できる (動詞) あなたに どのように使うか これらの製品

2 「どのように…するかをあなたに見せましょう」という、何を見せるか伝える文を書こう。



(1)

私は、どのように食べるかをあなたに見せましょう。

I'll show you (_____) (_____) eat.



(2)

私は、どのように飲むかをあなたに見せましょう。

I'll (_____) you (_____) (_____) drink.



(3)

私は、どのように書くかをあなたに見せましょう。

I'll (_____) you (_____) (_____) (_____).

3 日本文に合うように、() 内の動詞を使って英文を完成させよう。

(1) 私は、この机をどこに置けばよいかレンにたずねます。(ask)

I'll _____ Ren _____ put this desk.

(2) 今何をしたらよいか、私に教えてください。(tell)

Please _____ me _____ do now.

5 ...して

to + 動詞の原形 (原因を表す副詞的用法)

基本文 I am surprised **to see** this.

私はこれを**見て**驚いています。

ポイント

- ① surprised 「驚いた」, happy 「うれしい」, sad 「悲しい」 などの、感情を表す形容詞に <to + 動詞の原形> を続けると、「...して」と感情の原因を伝えることができる。
- ② <感情を表す形容詞 + to + 動詞の原形> には、次のようなものがある。
- 例** be **surprised to** ... 「...して驚く」 be **happy to** ... 「...してうれしい」
 be **glad to** ... 「...してうれしい」 be **sad to** ... 「...して悲しい」

基本文をマスターしよう

1 **基本文** の英文を、下の日本語を確認しながら書き写そう。

() () () () () ().
(主語) (be 動詞) 驚いた これを見て

2 「私は...して~でした」という絵の人物の気持ちを伝える文を、 の語を使って書こう。



私は宝くじが当たって興奮していました。 **excited**

I was () () win a lottery.

win a lottery (宝くじが当たる)



私はバッグをなくして悲しかったです。 **sad**

I was () () () my bag.

lose (...をなくす)



私は1位になってうれしかったです。 **happy**

I () () ()
first place.

win first place (1位になる)

3 日本語に合うように、() 内の動詞を使って英文を完成させよう。

(1) ケンはサッカー選手に会って驚きました。(see)

Ken was _____ a soccer player.

(2) マリコはその知らせを聞いて驚きました。(hear)

news (知らせ, ニュース)

Mariko was _____ the news.